

兒雷也豪傑譚
六編

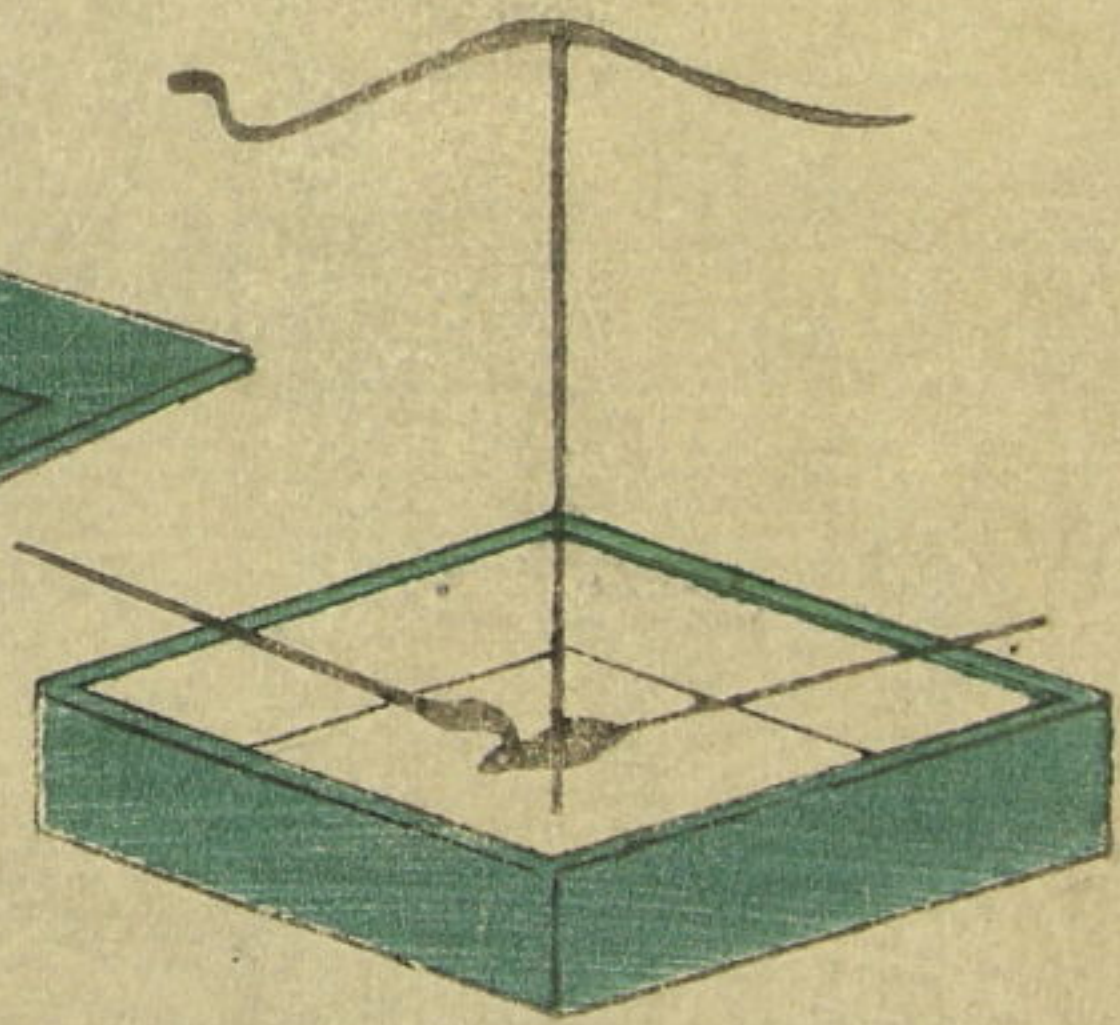
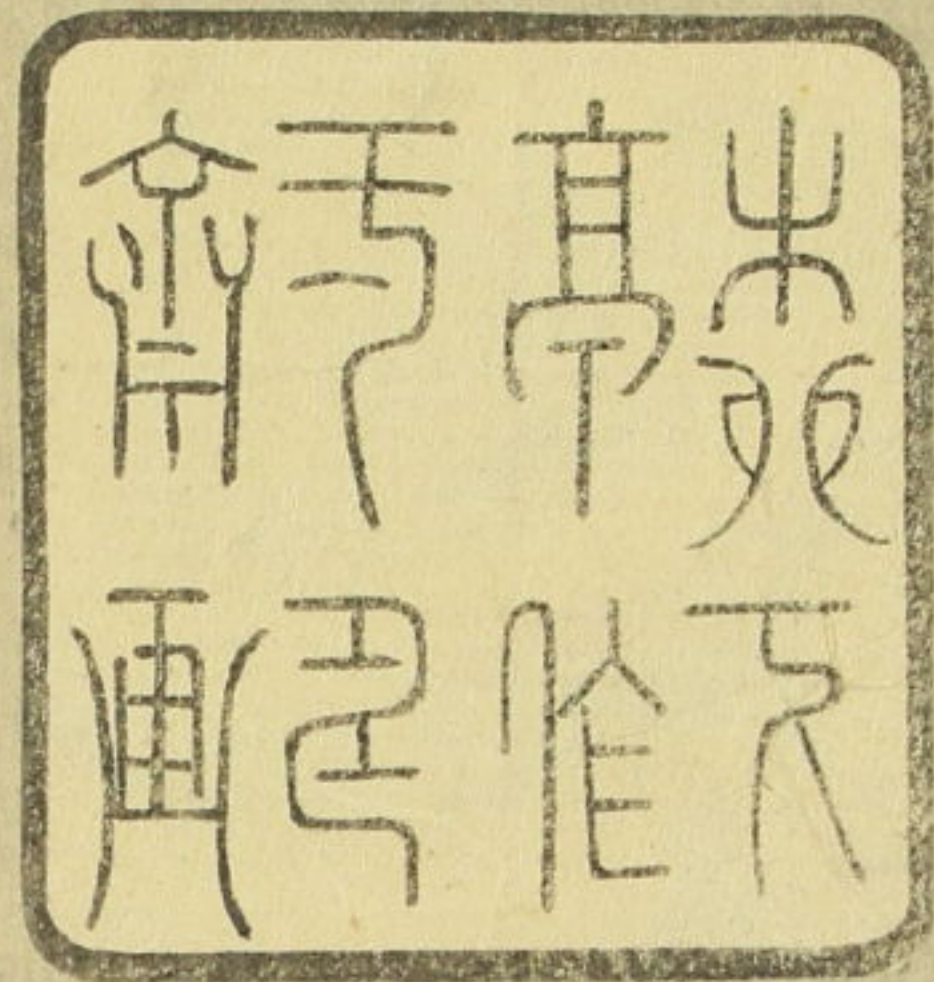
~ 13
3811
40



門 213
 號 3811
 卷 40

兒雷也

卅六編 上冊



甘名堂

兒雷也豪傑譚身三十六編序

漢土の杜元凱の左傳の僻あり王福時の子と譽僻のり
 和朝は時平公も笑僻のり慈鎮和尚のまふのり

せと詠たすひも哥乃僻ありてあり己小遲筆乃

僻ありて書房の催促の銀系よはけ熟思ハ一季乃り三

十種五種と著作本更ハ凡庸ありて鬼神歎天狗

歎妖怪歎注連の飾り橙の正月東西と齋齋ある年

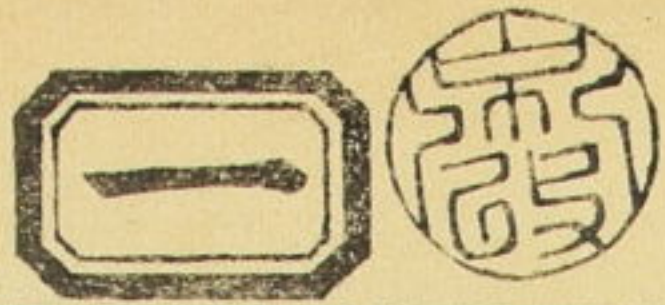
の市より翌年此の市迄延つて考通小腹匠て

十種を争覚東無小つて考通の達筆やと自短才の省

で他の頻よ羨ハる是愚痴の僻有といふべし

安爰己未閑端

柳下亭種員記



刺客
夢蝶兵衛



千代花

今市全右工門

物居也
あぶて年より
行ゆえ乃

美濃屋三勝



巳番也世一編



蛭
輸
仙
人



兒
雷
也

蛭
輸
丸
乃
短
劍
大
蛇
と
退
治
せ



勇婦綱手

日六廿九廿一廿四

三



高砂勇見之助義住

日六廿九廿一廿四

三

Vertical text columns at the top of the left page, likely serving as a title or introductory text.

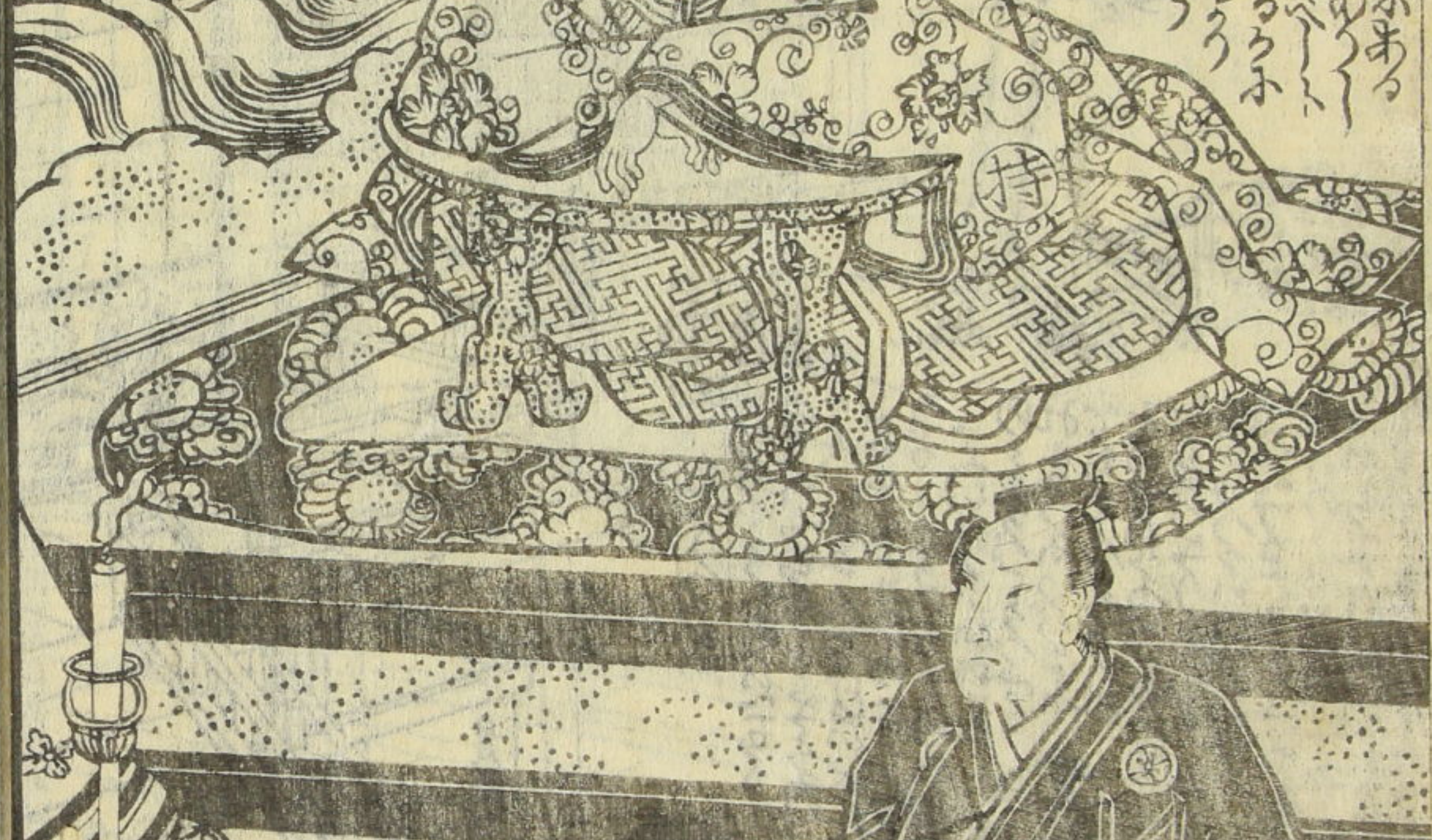
是より以下五丁
の画(兒番也)
謀計を隈浦
兄弟の虚説の
物語と出せし



Vertical text columns at the bottom of the left page, likely commentary or dialogue.

Vertical text on the far left edge of the left page.

Vertical text columns at the top of the right page.



Vertical text on the far right edge of the right page.

Small vertical text or mark at the bottom right of the right page.

浦富士兄弟
鱗形の太刀を以て
兒雷也が術と控んとする事
よとの後の巻の趣向あつて同画の
永くつてえといひて僅ふ其首を出



浦富士兄弟
鱗形の太刀を以て
兒雷也が術と控んとする事
よとの後の巻の趣向あつて同画の
永くつてえといひて僅ふ其首を出

種員作國芳画

柳煙亭種久作
一壽齋國貞画

名馬貞作
波呂波

文彦
初編二編
若竹再別

柳下亭種員校
一陽齋豊國助
梅素亭玄魚補

夜名一休草紙
十編
柳下亭種員作

小女郎如心草環
三編
曲亭馬琴作

照天松操月鹿毛
五編
柳枝作

風俗浅間嶽
六編
種員校合

種員校合
種久抄録
國貞畫



柳下亭種員作
一勇齋國芳画

外題曲五國色

下



命

雷

世



種員作國芳画

細手蛙仙が密書をよみて
 黄碯兒雷也が危き言を
 救へ七篇小委みす

三十七
 備書 芥來

女郎花五色石

九編 柳下草種員作

新編金瓶梅

十編 曲亭馬琴作

黄金水入る盃

七編 為永良水作

浪平 打越

双六

ひまわり白糸
 のまじり
 中へ

一猛齋芳虎画

三十六歌仙詠色双六

自書
 古く

柳下草種員作
 兒雷也豪傑譚

卅一編
 卅二編
 卅三編

一壽齋國貞画

延神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

